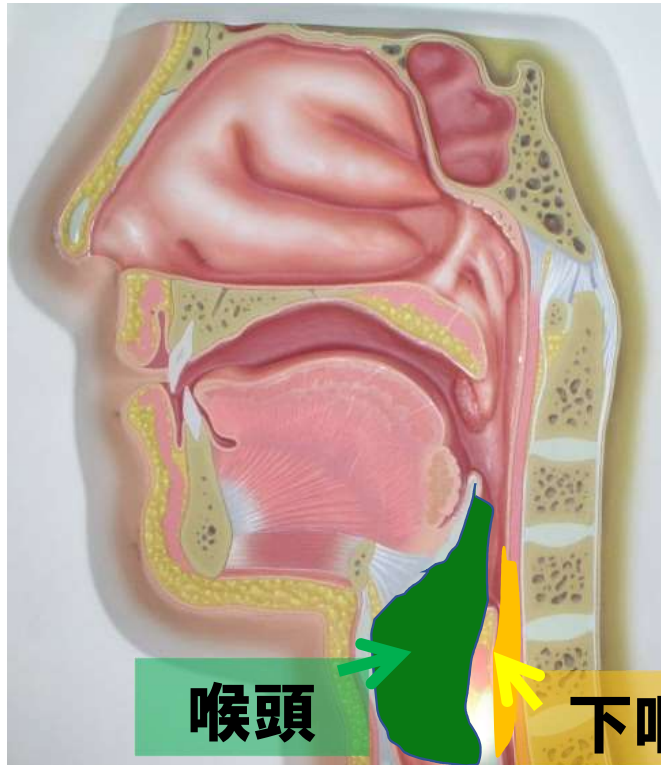


2. のどはどんな働きをしているの？

咽頭(食べ物の通り道)と喉頭(空気の通り道)

2. のどはどんな働きをしているの？

咽頭(食べ物の通り道)と喉頭(空気の通り道)



喉頭

下咽頭

さらに下方では気管から肺へとつながる
空気の通り道(気道)

さらに下方では食道から胃へとつながる
食物の通り道(消化管)

呼吸機能

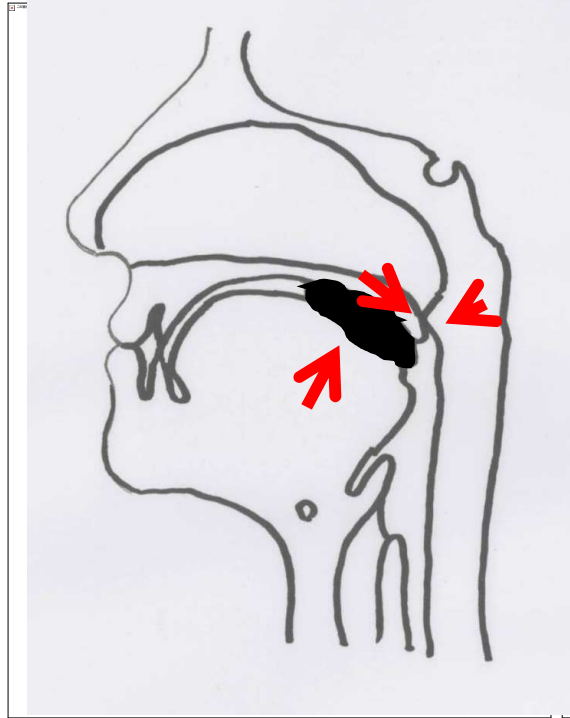
嚥下機能

発声機能

呼吸の道筋(気道)を保ちながら、
食べたものが気管に入って
むせないようにものを飲み込み、
さらに声を出すといった
三つの機能がバランスよく
機能することが重要です

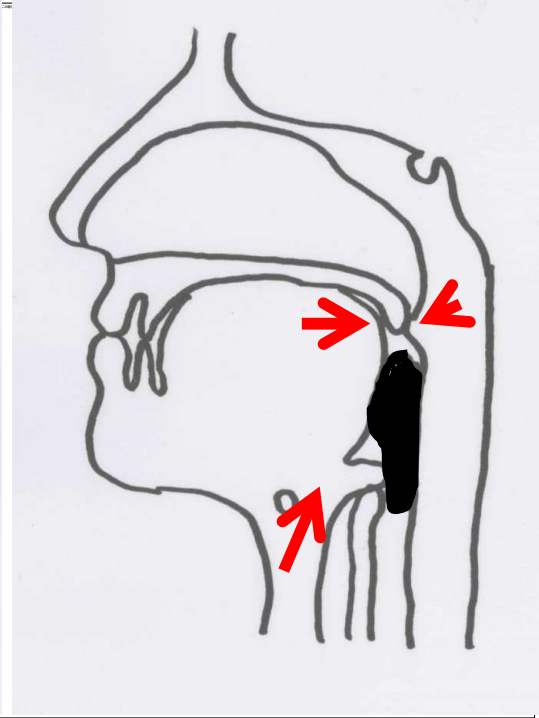
嚥下運動 1

I. 口腔期



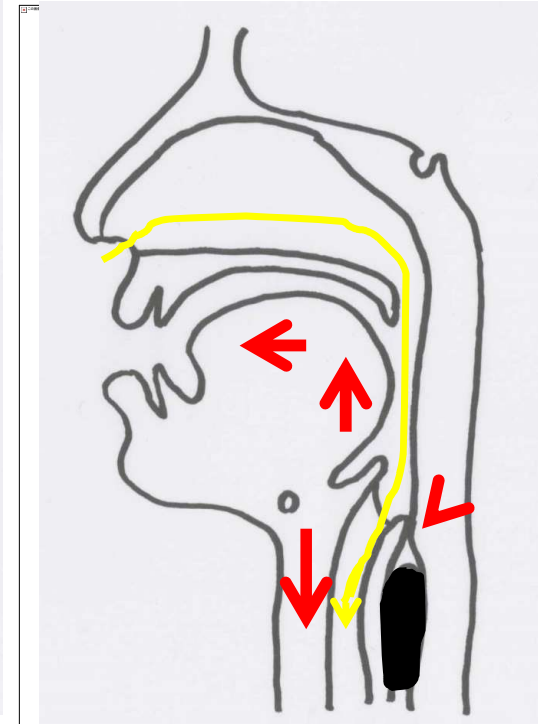
舌は後上方へ口蓋を圧す
軟口蓋が拳上し、咽頭後壁の
高まりと共に上咽頭を閉鎖し
食塊は中咽頭へ押し込まれる

II. 咽頭期



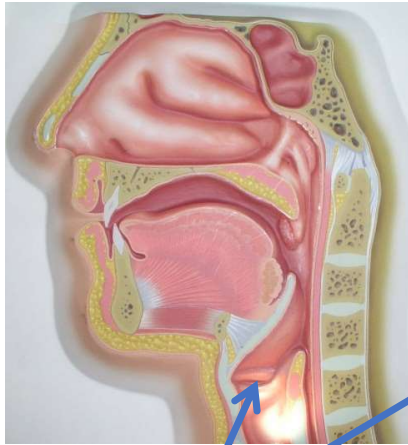
上咽頭は閉鎖し、舌根が
後方へ突出する
咽頭筋の収縮によって食塊は
下方へ移動する
同時に、舌骨、喉頭が引き上
げられて喉頭蓋は喉頭を閉じ
る

III. 食道期

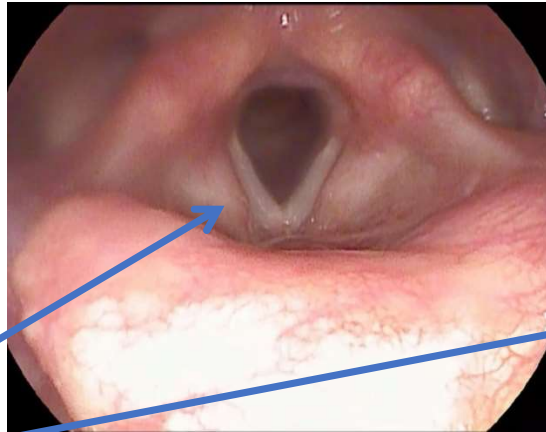


食塊は下咽頭から食道
に引き込まれる
喉頭は下降して
呼吸が可能となる

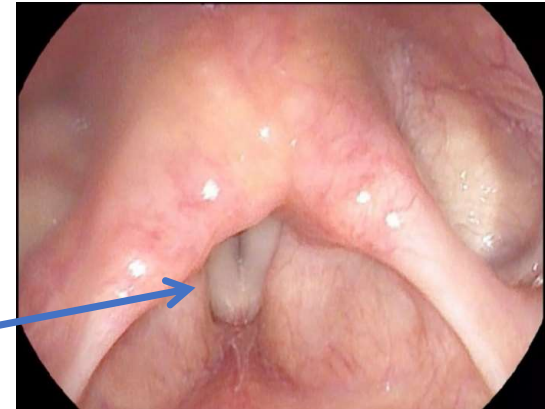
声帯振動による音声機能



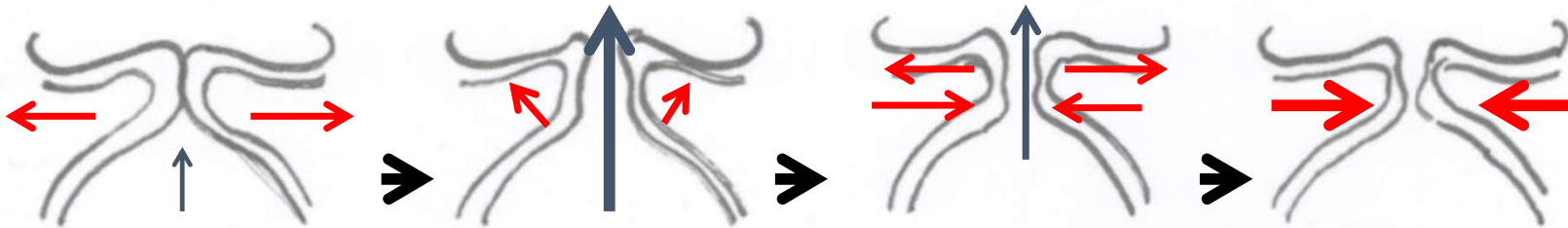
声帯



安静時、声帯は外方に開き
声門は開いている



発声時、声門は内転して
声門は閉じている



下方の肺、さらに気管からの「呼気」が、正中で閉じた左右の声帯の間を通りぬけていくとき、「声帯振動」が起こって声を作られます

肺からの呼気の流れが持っている運動エネルギーが、声帯のところで声という

エネルギーに変換されています